

テーマ展

# 豊臣大坂城史

Special Exhibition  
The History of  
Osaka Castle during  
the Toyotomi  
Period

令和5年

3.18 [土]

→ 5.7 [日]

開館時間 / 午前9時～午後5時

※入館は閉館の30分前まで

※観桜シーズンとゴールデンウィークは開館延長を予定しています。詳しくはHPをご覧ください。

入館料 / 600円 (中学生以下無料)

【交通】◆Osaka Metro 〔谷町線〕谷町四丁目駅・天満橋駅  
〔中央線〕谷町四丁目駅・森ノ宮駅  
〔長堀鶴見緑地線〕森ノ宮駅・大阪ビジネスパーク駅  
◆J R 〔大阪環状線〕森ノ宮駅・大阪城公園駅  
〔JR東西線〕大阪城北詰駅  
◆京阪電車 天満橋駅・京橋駅  
◆近鉄電車 鶴橋駅乗換、JR森ノ宮駅または大阪城公園駅

大阪城天守閣  
Osaka Castle Museum

Tel : 06-6941-3044

<https://www.osakacastle.net/>

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、記載内容が変更になる可能性があります。

ごあんない

秀吉築造の大坂城は、天下統一の拠点であり、国政の重要な舞台でもありました。規模と壮麗さで信長の安土城を数倍も上回ると称賛され、日本一堅固とも評されましたが、大坂夏の陣後、徳川幕府による大坂城再築時に石垣ごと地中に埋められてしまいました。本展では城郭史上および日本史上、特異な意義をもつ豊臣大坂城の歴史に光をあてます。



聖観音坐像  
(千姫観音)

三重・柴原家蔵

豊臣秀頼の正妻千姫(徳川家康の孫)が大坂夏の陣後、亡夫の祟りをしずめるために伊勢の慶光院にまつた観音像。

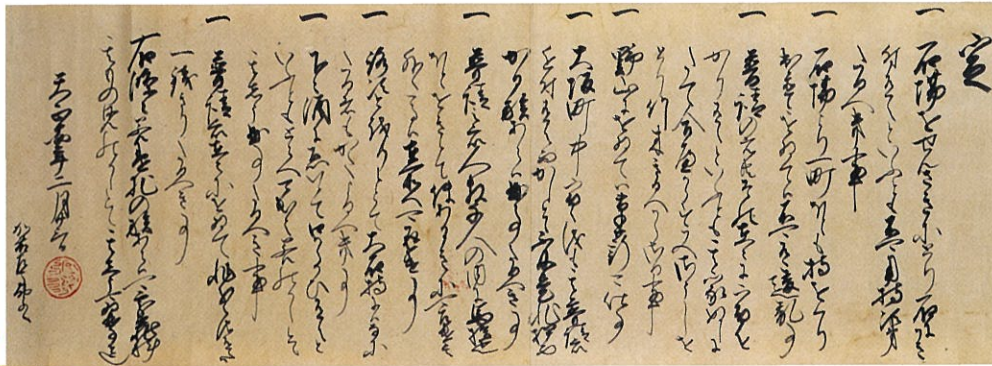


大阪市指定文化財  
金箔押菊文大飾瓦

豊臣大坂城で使用されていた直径45cmにおよぶ金箔瓦。大坂夏の陣の戦火をうけた痕跡が残る。

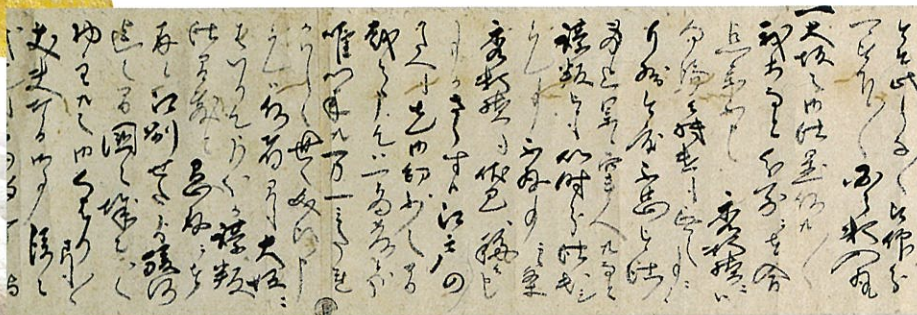
大坂城図屏風(部分)  
大阪城天守閣蔵

大坂城を描いた絵画資料として、現存最古のものとみられる貴重な作品。



豊臣秀吉朱印大坂築城定書  
大阪城天守閣蔵

石材の採取・運搬について秀吉が出した定書。大石の運搬に出会ったら、どんな身分の者でも道をあけねばならないことなどを規定する。



伊達政宗自筆書状(部分) 大阪城天守閣蔵

関ヶ原合戦の翌年の書状。大坂で謀反をたくらむ浪人たちにかつがれぬよう、豊臣秀頼を幼少のうちには伏見か江戸へ移すべき、と徳川家康に献策する。



小堀遠州書状 個人蔵

徳川幕府による大坂城再築工事のさなか、作事奉行の小堀遠州が縄張り設計を担当した藤堂高虎に送った書状。大坂城が幕府の主宰者である徳川秀忠の居城となる可能性について記す。



大阪城天守閣

〒540-0002 大阪市中央区大阪城1-1  
TEL 06-6941-3044 FAX 06-6941-2197  
URL <https://www.osakacastle.net/>